



平和首長会議ニュース

2023年3月 / 第159号

平和首長会議加盟都市数

166 各国・地域 **8,240** 自治体

加盟都市数 **10,000** 都市を目指しています！

日本国内加盟自治体数 : 1,737

(2023年3月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆ 冊子『平和文化の振興』が完成しました！
- ◆ 加盟都市の活動紹介
- ◆ SNSで平和首長会議役員都市を紹介しています！
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数: 166各国・地域 8,240自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

=====
■冊子『平和文化の振興』が完成しました！
=====

平和首長会議は、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン(PXビジョン)」において、目標の一つとして、「平和文化の振興」を掲げています。

この度、平和首長会議会長都市である広島市が「平和文化の振興」についてまとめた冊子を新たに作成しました。広島市が取り組む「平和文化の振興」について、平和文化の概念やこれを振興する意義、都市の役割等について書かれています。

広島市内では区役所や出張所、公民館等の公共施設に広く設置されています。平和首長会議の国内加盟都市に対しては、3月上旬に配送されていますので、各都市において「平和文化の振興」に取り組む際の参考としてください。

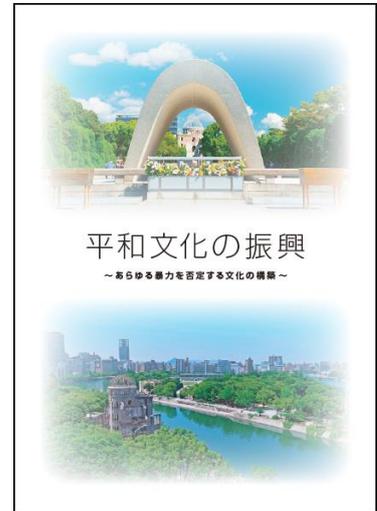
また、冊子の電子版(PDF)は広島市公式ホームページにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。

 電子版『平和文化の振興』はこちら(広島市公式ホームページ):
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/atomicbomb-peace/321223.html>

▼ 冊子に関する問い合わせ先

広島市市民局国際平和推進部平和推進課

Email: peace@city.hiroshima.lg.jp TEL: 082-242-7831 FAX: 082-242-7452



=====
■加盟都市の活動紹介
=====

●千葉県佐倉市 子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2022 佐倉市応募作品展

佐倉市は、未来を担う子どもたちに平和について考えてもらうため、平和首長会議が主催する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」に2019年から参加しています。

2022年は14作品の応募がありました。子どもたちが「世界中の人々が笑顔で暮らせるように」と願って描いた作品を多くの方に見ていただき、平和について考えていただける機会となるよう、2023年2月21日～3月3日に佐倉市役所ロビーで応募作品展を開催しました。



写真提供：佐倉市

●千葉県白井市 被爆アオギリ二世を植樹

白井市では、2023年2月17日に白井市立白井中学校の校庭に、2月22日に白井市役所庁舎前に、被爆アオギリ二世の苗木を植樹しました。

植樹を行った白井中学校の生徒たちは「この木が1cm成長するごとに、世界中の一人でも多くの人が平和で、安心して暮らせるように願っています」「世界で唯一の被爆国である日本だからこそできるこのような活動を広め、戦争が二度と起こらない世界になってほしいです」と平和への思いを新たにしました。

また、植樹に当たり笠井市長は「日本をはじめ世界の恒久的な平和を願っています」とコメントしています。

アオギリと共に市民の平和への思いが大きく育つよう、大切に育成していきます。



写真提供：白井市

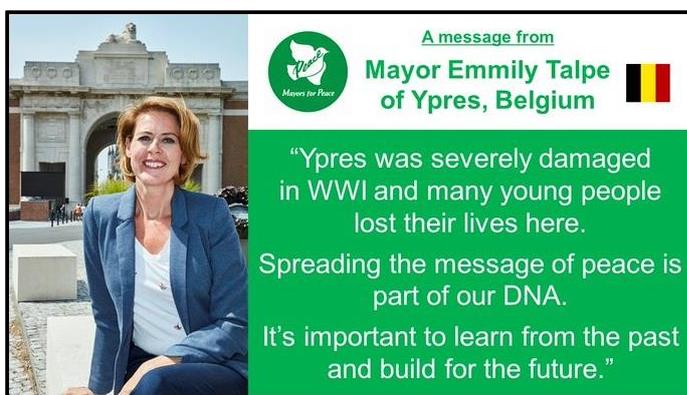
SNSで平和首長会議役員都市を紹介しています！

世界166か国・地域の8,240自治体(2023年3月1日現在)が加盟する平和首長会議では、[世界各地の21都市](#)が役員都市を務めています。

この度、各役員都市についてより多くの方々に知っていただくため、[平和首長会議公式ツイッターアカウント\(@Mayors4Peace\)](#)及び[フェイスブックアカウント\(@mayorsforpeace\)](#)にて、8つの役員都市から寄せられた ①市長メッセージ ②見どころ・名物 ③平和イベント・取組 を、日本語と英語で紹介していますので、この「平和首長会議ニュース」においても順次紹介します。

今月号では、イーペル市(ベルギー)、グラノラズ市(スペイン)及びバンコク都(タイ)について紹介します。

● イーペル市(ベルギー)



① エミリー・タルペ市長メッセージ

「イーペル市は第一次世界大戦で壊滅的な被害を受け、多くの若者がここで命を落としました。平和のメッセージを広めていくことは、私たちのDNAの一部です。過去から学んで未来を築いていくことが重要です。」



② 見どころ・名物

- ・ メニン門(第一次世界大戦の慰霊碑)
- ・ 衣料会館(中世に欧州有数の衣服の取引拠点であった歴史的建造物)
- ・ 猫祭り(3年に1度開催される参加型の祭典。パレードの他、フィナーレの「猫投げ」(投げ込まれる猫の人形をキャッチ!)が有名)



③ 平和のイベント・取組

2017年にイーペル市のボランティアが集まり、世界最大の虹色の「平和の旗」を縫い上げました。それ以来、毎年国際平和デーにこの旗を掲揚しています。

● グラノラーズ市(スペイン)



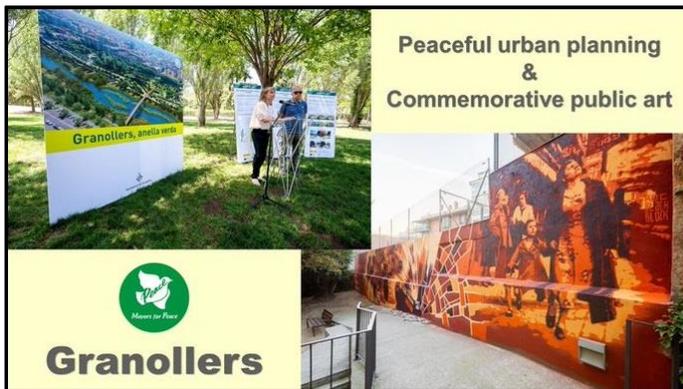
① アルバ・バルヌセル市長メッセージ

「グラノラーズ市が歩んできた歴史が、私たちの平和行政の取組の下地となっています。地方自治体が平和の取組を推し進めていくことは、地域レベルでも国際レベルでも重要です。」



② 見どころ・名物

- ・ ハンドボール(プロチーム:BMグラノラーズ)
- ・ ポルチャーダ広場(ルネッサンス期の穀物取引市場跡がある広場)
- ・ バリエス・ウリアンタルの美しい景色



③ 平和のイベント・取組

- ・ グラノラーズ市は公共空間の緑化を通じた「平和な都市計画」を進めています。
- ・ 市内の壁画などのアートを通じて、先の戦争の犠牲者の記憶を継承しています。

● バンコク都(タイ)



① チャットチャート・シッティパン都知事メッセージ

「平和な世界は共感する都市から始まります。」



② 見どころ・名物

- ・ グランド・パレス(王宮)
- ・ ワット・アルン(「暁の寺」とも呼ばれる、タイ三大寺院の一つ。バンコク屈指の映えスポット！)
- ・ パッタイ(焼きそば)



③ 平和のイベント・取組

バンコク都では様々な平和に関する取組を実施しています。例えば、都庁舎での「平和首長会議原爆ポスター展」や「ヒロシマ・アピールズ」ポスターの展示の他、平和に関する情報をHPに掲載しています。

平和首長会議公式SNSアカウントでは、役員都市の紹介のほかにも、様々なニュースを写真と共にご紹介しています。是非フォローをお願いいたします！

 平和首長会議公式ツイッターアカウント([@Mayors4Peace](https://twitter.com/Mayors4Peace))
<https://twitter.com/Mayors4Peace>

 平和首長会議公式フェイスブックアカウント([@mayorsforpeace](https://www.facebook.com/mayorsforpeace))
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。
 Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,240自治体
 =====

2023年3月1日付で、3自治体が加盟し、加盟自治体数は8,240都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
フランス	モン＝サン＝マルタン	171	副会長都市及びリーダー都市であるマラコフ市の呼び掛けにより加盟。
スペイン	カルボネロス	402	
英国	ソールズベリー	88	反核平和団体の核軍縮キャンペーン(CND)の呼び掛けにより加盟。

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！

3か国から3都市が加盟

フランス 1都市

スペイン 1都市

英国 1都市

加盟都市数

166

か国
地域

8,240

都市

2023年3月1日現在

加盟都市数 10,000都市 を目指しています！

3月1日付新規加盟自治体一覧(PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2023/file-2302-newmembers2303_jp.pdf

加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf

=====
■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の苗木の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。なお、この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。



また、被爆樹木二世の苗木を活用した取組(植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など)がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====

■平和教育の取組事例を募集しています

=====

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====

■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第101回)

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

広島で先進7カ国首脳会議(G7サミット)が開かれるまで、あと〇日—。中国新聞は、「あと100日」だった2月8日から毎日、社会面の4コマ漫画の下に、カウントダウンの数字とともに小さな連載記事を載せています。広島市民、県民にも意外と広く知られていない、広島に関するさまざまな「トリビア」を織り交ぜています。

サミットの主会場となるホテルが立つ広島市南区元宇品町には、かつて宇品造船所があり軍用船が造られていました。1945年8月6日のあの日、社員約160人が今の平和記念公園の南側辺りで建物疎開に動員されており、「全滅した」と伝えられています。戦後の一時期はリゾート施設があり、象やライオンもいたそうです。

現在の原爆ドームでは、第1次世界大戦で捕虜となり似島(南区)に収容されたドイツ人が1919年に品評会に参加し、日本で初めてバウムクーヘンを披露しました。平和記念公園を設計した建築家の故丹下健三氏は、原爆ドームと原爆慰霊碑、原爆資料館を結ぶ南北の「軸線」を設計思想に込め、一直線に配置しています。「平和の軸線」などと呼ばれています。

いずれも、G7の首脳たちが訪れるだろう場所です。地元の隠れた歴史やエピソードを知れば、私たち自身のサミットへの関心もさまざまに膨らむのではないのでしょうか。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

@ひろしまサミットまで 98日 水族館 ゾウも

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=128299>

@ひろしまサミットまで 96日 高射砲台跡

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=128236>

『記憶を受け継ぐ』 嘉屋重順子さん—10人家族 姉2人を失う

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=127509>

[ヒロシマの声 NO NUKES NO WAR] 「地球益」考えて終戦を 七宝作家 被爆者 田中稔子さん(84) = 広島市東区

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=128700>

広島サミット原点の地で <8> 原爆孤児
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=128573>

広島サミット原点の地で <6> 原爆小頭症
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=128435>

=====
■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について
=====

核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効し、現在68か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙
<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

<ツイッター>  @Mayors4Peace
<https://twitter.com/Mayors4Peace>



<フェイスブック>  @mayorsforpeace
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！